

3 事業概要

3.1 環境情報部環境活動推進課

3.1.1 企画調整業務

調査研究の企画調整、研究成果の公表及び環境全般についての普及啓発に関する業務を行った。

(1) 調査研究業務の企画調整

平成 27 年度調査研究課題として設定したプロジェクト研究等 4 課題について、研究結果説明会で内部評価を行った。

また、平成 29 年度の調査研究課題について、研究計画説明会において内部評価を、また研究推進委員会による外部評価を行った。

事業名又は項目	概要
ア 調査研究課題の調整	H29年度の調査研究課題について、調査研究課題の設定を行った。
イ 内部評価	H27年度調査研究課題の研究結果説明会をH28.5.23(月)、H29年度研究計画説明会をH29.1.27(金)に開催し、評価を行った。
ウ 外部評価	H29年度調査研究課題について、学識経験者 4 名で構成する研究推進委員会(委員長 桜美林大学リベラルアーツ学群片谷教孝教授)をH29.3.2(木)に開催し、外部評価を行った。 <評価対象> 微小粒子状物質の広域的な汚染実態の把握と発生源寄与の解明(プロジェクト研究) 微小粒子状物質中の有機炭素成分の指標化の検討(プロジェクト研究) 相模湾沿岸域におけるマイクロプラスチック汚染の実態解明(プロジェクト研究) 大涌谷における火山ガスの測定手法の開発(地域課題研究)

(2) 研究成果の公表

調査研究成果を広く紹介するため、業績発表会及び環境研究合同発表会を開催するとともに、研究報告の発行、学会等への発表を行った。

ゴシック表記の氏名は、当時センター職員であることを示す。

事業名又は項目	概要
ア 環境研究合同発表会	当センターと横浜市環境科学研究所及び川崎市環境総合研究所で構成する「神奈川県市環境研究機関協議会」の主催により、環境月間中のH28.6.15(水)に横浜市技能文化会館において、「第40回環境研究合同発表会」を開催した。参加者125人 <当センターの演題> 遺伝子を用いたブナのストレス診断(十河孝夫【調査研究部】) 神奈川県内の底質中アルキルフェノール及びビスフェノールAとその分配性に対する有機炭素含有率の影響(三島聡子【調査研究部】)

事業名又は項目	概要
イ 業績発表会	<p>H28.10.7日(金)にラスカ平塚ラスカホールにおいて、環境科学センター業績発表会を開催した。参加者60人</p> <p><演題></p> <p>大涌谷の火山ガスはどこまで広がったのか?(池貝隆宏【調査研究部】)</p> <p>廃棄物埋立地の安定化の状況を探る-県営最終処分場におけるモニタリングの一考察-(大塚寛人【調査研究部】)</p> <p>給油時に漏れている?-ガソリンペーパーと大気汚染の話(武田麻由子【調査研究部】)</p> <p>神奈川県内の騒音の現状(横島潤紀【環境情報部】)</p> <p>神奈川県内の大気・水環境の現状(寺下明文【環境情報部】)</p> <p>市民(NPO法人神奈川県環境学習リーダー会)による環境科学センターと連携した取組み(田口繁雄【NPO法人神奈川県環境学習リーダー会】)</p>
ウ 研究報告の発行	<p>「平成28年版(2016)神奈川県環境科学センター研究報告 第39号」をH29.1に当センターwebサイトに掲載した。</p> <p><内容></p> <p>PM2.5対策~3年間の取組を振り返る~(所長 小林幸文)</p> <p>2015年夏季の大涌谷周辺地域におけるSO₂濃度分布の推定(池貝隆宏【調査研究部】)</p> <p>神奈川県内の河川における有機フッ素化合物の実態(三島聡子【調査研究部】)</p> <p>新幹線鉄道騒音の暴露反応関係についての再検討 社会音響調査の二次分析から(横島潤紀【環境情報部】、森原崇【石川工業高等専門学校】、矢野隆、川井啓二【熊本大学】、田村明弘【横浜国立大学】)</p> <p>相模湖上流地域における炭素繊維を用いたリン浄化に関する検討(秀平敦子、関谷雅幸、高坂和彦【調査研究部】)</p> <p>給油時におけるガソリン蒸発ガスの環境中濃度について(武田麻由子、小松宏昭、十河孝夫【調査研究部】)</p> <p>廃棄物最終処分場の廃止に向けた適正管理とモニタリング手法に関する研究(大塚寛人、中山駿一、大津岩雄、朝倉純【調査研究部】、坂本広美【県西地域県政総合センター】)</p>
エ 学会等への発表	<p>調査研究成果について、論文等の発表(表3.1.1-1、表3.1.1-2)を行った。</p>
オ その他	<p>調査研究の成果に基づく特許の保有状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特許5561752号(H26.6.20)「アルコールの製造方法」(発明者 渡邊久典) 調査研究その他の業績により、職員が平成28年度中に受けた表彰 ・H28.10.27(木)「生活と環境全国大会長感謝状(生活環境改善功労者)」(池貝隆宏【調査研究部】) ・H28.10.28(金)「全国環境研協議会関東甲信静支部長表彰」(飯田信行【環境情報部】) ・H28.11.16(水)「神奈川県環境農政局長表彰」(箱根火山ガス対応チーム【調査研究部】) ・H29.3.21(火)「神奈川県環境農政局長表彰」(武田麻由子【調査研究部】)

表 3.1.1-1 論文等発表

著 者【所属】	題 目	学会誌等名称
武田麻由子、十河孝夫【調査研究部】、北見 丘、美濃口 薫【農業技術センター】	犬越路におけるオゾン濃度の経年変化及びブナ生育への影響評価	神奈川県自然環境保全センター報告、(14), 27-32(2016)
池貝隆宏【調査研究部】	焼却炉排ガス管理に拡散モデル活用のススメ	かながわ環境技術会誌、(16), 9-14(2017)
齋藤和久【環境情報部】、萩原清司【横須賀市自然・人文博物館】、出島誠一【ずしし環境会議・まちなみと緑の創造部会】	三浦半島から採集されたカマキリ(アユカケ)(スズキ目:カジカ科)	横須賀市博物館研究報告(自然)、(64), 31-34(2017)
富田隆太【日本大】、小谷朋央貴【フジタ】、松田 貫【大和ハウス工業総合技術研究所】、横島潤紀【環境情報部】、伊積康彦【鉄道総研】	人の動作を対象とした建築空間の振動測定点に関する測定経験者へのアンケート調査	日本建築学会技術報告集、22(52), 1017-1020(2016)
佐野泰之【愛知工大】、富田隆太【日本大】、横島潤紀【環境情報部】、小谷朋央貴【フジタ】、伊積康彦【鉄道総研】	鉄道走行時の振動レベルとそれに対する感覚反応	日本建築学会技術報告集、23(53), 177-180(2017)

表 3.1.1-2 口頭発表 (* : ポスター発表)

発表者・連名者【所属】	発表テーマ	学会名・発表年月(開催場所)
三島聡子【調査研究部】	神奈川県内の底質中アルキルフェノール及びビスフェノール A とその分配性に対する有機炭素含有率の影響	第 27 回環境化学討論会 H28.6 (朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター)
横島潤紀【環境情報部】、西野健太郎【大気水質課】、田村明弘【横浜国大】	神奈川県内における東海道新幹線鉄道騒音・振動の現状	日本音響学会騒音・振動研究会 H28.8 (日本大)
森原 崇【石川高専】、横島潤紀【環境情報部】、松本泰尚【埼玉大】	作業活動に及ぼす新幹線鉄道騒音と振動の相乗効果に関する実験的検討 読書と計算作業の場合	
富田隆太【日本大】、松田 貫(大和ハウス工業)、小谷朋央貴【フジタ】、横島潤紀【環境情報部】、伊積康彦【鉄道総研】	測定経験者を対象とした建築空間の振動測定点に関するアンケート調査	
横島潤紀【環境情報部】、森原 崇【石川高専】、川井敬二、矢野 隆【熊本大】、太田篤史、田村明弘【横浜国大】	Secondary analysis of exposure-response for Shinkansen super-express railway noise in Japan	INTER-NOISE 2016 H28.8 (ハンブルグ(ドイツ))
森原 崇【石川高専】、横島潤紀【環境情報部】、松本泰尚【埼玉大】	An experimental study on combined effects of high-speed railway noise and vibrations on activity disturbances	
小松宏昭【調査研究部】、常松展充【東京都環境科学研究所】、原 政之【埼玉県環境科学国際センター】、浦西克維【大阪大】、菅田誠治【国立環境研究所】	神奈川県における化学輸送モデルを用いた PM2.5 の発生源寄与解析	第 57 回大気環境学会年会 H28.9 (北海道大)

発表者・連名者【所属】	発表テーマ	学会名・発表年月 (開催場所)
武田麻由子、十河孝夫【調査研究部】、青野光子【国立環境研究所】	オゾン暴露したブナ葉における遺伝子発現解析	第57回大気環境学会年会 H28.9(北海道大)
小松宏昭【調査研究部】、浦西克維【大阪大】、原 政之【埼玉県環境科学国際センター】、常松展充【東京都環境科学研究所】、山本勝彦、奥村智慧【大阪府立環境農林水産総合研究所】、浅野勝佳、【奈良県景観・環境総合センター】、宮野愛子【滋賀県琵琶湖環境部環境政策課】、山神真紀子、青山知由【名古屋市環境科学調査センター】、板野泰之【大阪市環境科学研究所】、菅田誠治【国立環境研究所】	化学輸送モデルを用いたPM2.5の発生源寄与解析	
武田麻由子【調査研究部】、吉田 勤【札幌市衛生研究所】、遠藤昌樹【山形県環境科学研究センター】、多田有佑【仙台市衛生研究所】、大橋泰浩【山梨県衛生環境研究所】、三宅健司【静岡県環境衛生科学研究所】、池盛文数、山神真紀子【名古屋市環境科学調査センター】、寺本佳宏【三重県保健環境研究所】、西村理恵【大阪府立環境農林水産総合研究所】、中坪良平【兵庫県環境研究センター】、菊谷有希【奈良県環境政策課】、佐藤嵩拓【島根県保健環境科学研究所】、山内正信、大内伸保【愛媛県立衛生環境研究所】、豊永悟史【熊本県環境生活部環境局環境保全課】、土肥正敬【長崎県環境保健研究センター】、菅田誠治【国立環境研究所】	日本各地におけるPMF解析結果の比較	
石割隼人【調査研究部】	神奈川県におけるPM2.5に含まれる有機化合物の構造決定	
木戸瑞佳【富山県環境科学センター】、中島亜矢子【福岡市保健環境研究所】、山本真緒【奈良県景観・環境総合センター】、寺本佳宏【三重県保健環境研究所】、山神真紀子【名古屋市環境科学調査センター】、牧野雅英【石川県保健環境センター】、武田麻由子【調査研究部】、熊谷貴美代【群馬県衛生環境研究所】、長谷川就一【埼玉県環境科学国際センター】、菅田誠治【国立環境研究所】	2016年2、3月におけるPM2.5高濃度事例の解析	
西山亨【三重県保健環境研究所】、中島亜矢子【福岡市保健環境研究所】、池田光広【香川県環境保健研究センター】、山本真緒【奈良県景観・環境総合センター】、中坪良平【兵庫県環境研究センター】、山神真紀子【名古屋市環境科学調査センター】、木戸瑞佳【富山県環境科学センター】、武田麻由子【調査研究部】、長谷川就一【埼玉県環境科学国際センター】、菅田誠治【国立環境研究所】	2015年4、5月におけるPM2.5高濃度事例の解析	

発表者・連名者【所属】	発表テーマ	学会名・発表年月 (開催場所)
池田光広【香川県環境保健研究センター】、中島亜矢子【福岡市保健環境研究所】、山本真緒【奈良県景観・環境総合センター】、中坪良平【兵庫県環境研究センター】、寺本佳宏【三重県保健環境研究所】、山神真紀子【名古屋市環境科学調査センター】、牧野雅英【石川県保健環境センター】、木戸瑞佳【富山県環境科学センター】、武田麻由子【調査研究部】、熊谷貴美代【群馬県衛生環境研究所】、長谷川就一【埼玉県環境科学国際センター】、遠藤昌樹【山形県環境科学研究センター】、小野寺甲仁【岩手県環境保健研究センター】、松岡靖史【北九州市環境科学研究所】、菅田誠治【国立環境研究所】	2015年6月におけるPM2.5高濃度事例の解析	第57回大気環境学会年会 H28.9(北海道大)
梶田奈穂子【愛知県環境調査センター】、中島亜矢子【福岡市保健環境研究所】、池田光広【香川県環境保健研究センター】、山本真緒【奈良県景観・環境総合センター】、中坪良平【兵庫県環境研究センター】、寺本佳宏【三重県保健環境研究所】、山神真紀子【名古屋市環境科学調査センター】、牧野雅英【石川県保健環境センター】、木戸瑞佳【富山県環境科学センター】、花岡良信【長野県環境保全研究所】、武田麻由子【調査研究部】、熊谷貴美代【群馬県衛生環境研究所】、遠藤昌樹【山形県環境科学研究センター】、佐久間隆【宮城県保健環境センター】、長谷川就一【埼玉県環境科学国際センター】、菅田誠治【国立環境研究所】	2015年7、8月におけるPM2.5高濃度事例の解析	
田中佑典、鈴木義浩【川崎市環境総合研究所】、小松宏昭、武田麻由子【調査研究部】、福崎有希子、志村徹【横浜市環境科学研究所】、白砂裕一郎、小澤宏樹【横浜市環境監視センター】	2014年度神奈川県におけるPM2.5高濃度事例*	
山本勝彦、奥村智恵、西村理恵【大阪府立環境農林水産総合研究所】、浦西克維【大阪大】、小松宏昭【調査研究部】、菅田誠治【国立環境研究所】	大阪盆地における夏季のPM2.5汚染メカニズムの研究	
横島潤紀【環境情報部】、森原 崇【石川高専】、矢野 隆【熊本大】、田村明弘【横浜国大】	新幹線鉄道騒音・振動による睡眠妨害に関する量反応関係 社会調査の二次分析から	日本音響学会 2016年秋季研究発表会 H28.9(富山大)
武田麻由子【調査研究部】	神奈川県におけるブナ林衰退の原因究明への取り組み	日本学術会議公開シンポジウム H28.11(日本学術会議講堂)
齋藤和久【環境情報部】、萩原清司【横須賀市自然・人文博物館】、出島誠一【ずしし環境会議・まちなみと緑の創造部会】	三浦半島で採集されたカマキリ(アユカケ)(スズキ目:カジカ科)	横須賀市自然・人文博物館研究発表会「自然誌研究成果展2016」 H28.11(横須賀市自然・人文博物館)

発表者・連名者【所属】	発表テーマ	学会名・発表年月 (開催場所)
横島潤紀【環境情報部】	【invited paper】INCE/J Vibration Measurement Manual for Buildings - Part 1:A commentary on the manual for vibration measurement	第5回日米音響学会ジョイントミーティング H28.11(ヒルトンハワイアンビレッジ(ホノルル))
横島潤紀【環境情報部】、森長 誠【防衛施設協会】、矢野 隆【熊本大】、森原 崇【石川高専】、川井敬二【熊本大】	【invited paper】Community response to transportation noises in Japan-Secondary analysis using Japanese Socio-Acoustic Survey Data Archive-	
森原 崇【石川高専】、横島潤紀【環境情報部】、矢野 隆【熊本大】	【invited paper】Activity disturbances caused by Shinkansen railway noises through the meta-analysis in Japan	
横島潤紀【環境情報部】、森原 崇【石川高専】、佐野泰之【愛知工大】、松本泰尚【埼玉大】	交通振動に対する量反応関係:日本国内における社会調査の二次分析	日本音響学会 騒音・振動研究会 H29.2(熊本大)
森原 崇【石川高専】、横島潤紀【環境情報部】、松本泰尚【埼玉大】	北陸新幹線鉄道沿線の居住者を対象とした開通1年後の社会調査	
Thu Lan Nguyen、矢野 隆【熊本大】、森原 崇【石川高専】、横島潤紀【環境情報部】、森長 誠【防衛施設協会】	ICBEN 5段階と11段階尺度によるアノイアンス反応の異なる言語での比較	
小松宏昭【調査研究部】	神奈川県における化学輸送モデルを用いたPM2.5の発生源寄与解析	第32回全国環境研究所交流シンポジウム H29.2(国立環境研究所)
横島潤紀【環境情報部】、森原 崇【石川高専】、佐藤哲身【北海学園大】、矢野 隆【熊本大】	【招待講演】騒音・振動の住民反応の相互作用に関する研究 新幹線鉄道沿線での社会調査から	日本音響学会 2017年春季研究発表会 H29.3(明治大)
小谷朋央貴【フジタ】、富田隆太【日本大】、横島潤紀【環境情報部】、佐野泰之【愛知工大】	【招待講演】建物内外振動の測定分析方法について	
田村明弘【横浜国大】、横島潤紀【環境情報部】	各種交通騒音の基準値算道筋と基準値の提案	日本音響学会 騒音・振動研究会 H29.3(小林理学研究所・国分寺市)
矢野 隆【熊本大】、横島潤紀【環境情報部】、森長 誠【防衛施設協会】	環境騒音に関するアノイアンス、苦情、対処の関係	

(3) 人材育成

県・市町村環境担当職員研修等を行った。

事業名又は項目	概要
<p>ア 大気水質等担当職員研修</p>	<p>県及び市町村の職員を対象に、研修を行った。</p> <p>環境保全関係法令研修 主要な環境保全関係法令の基礎知識、許認可の事務手続き等に関する16講座の研修を4日間(H28.5.24(火)～31(火))で行った¹。受講者延べ134人</p> <p>技術研修 騒音及び臭気測定法の実習、アスベストの観察実習、水質の簡易分析法に関する16講座の研修を4日間(H28.10.17(月)～H28.11.2(火))²で行った。受講者延べ104人</p> <p>1 県立国際言語文化アカデミアで実施 2 環境科学センター、松田町立公民館、川音川(足柄上郡松田町内)で実施</p>
<p>イ 廃棄物対策担当職員研修</p>	<p>県及び廃棄物処理法政令4市の職員を対象に、廃棄物関係法令の基礎知識、許認可の事務手続き、行政検査の方法等に関する15講座の研修を3日間(H28.5.12(木)～17(火))で行った。受講者延べ97人</p> <p>県立国際言語文化アカデミア、かながわ環境整備センターで実施</p>
<p>ウ 環境学習担当者職員研修</p>	<p>県及び市町村の環境学習担当職員を対象に、環境教育や環境学習の実践等に関する研修をH28.5.20(金)に行った。受講者19人</p>
<p>エ 市町村環境業務担当職員研修</p>	<p>市町村の環境業務担当職員を対象に、水質調査委託業務管理に役立てるため分析操作及び分析値の精度管理手法を習得する5講座の研修をH28.6.22(水)に行った。受講者10人</p>
<p>オ 研修派遣</p>	<p>環境省環境調査研修所に職員を派遣したほか、各種学会等が主催する講演会等に参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境省環境調査研修所主催研修 <ul style="list-style-type: none"> 特定機器分析研修 (LC/MS/MS) H28.4.11(月)～22(金) 中山駿一 アスベスト分析研修 H28.6.13(月)～17(金) 朝倉純 アスベスト分析研修 H28.10.3(月)～7(金) 十河孝夫

(4) 依頼に基づく職員の派遣

市町村、団体等から要請のあった出前講座等への講師派遣、及び審議会等への委員派遣を行った。

事業	概要
ア 講師派遣	国、大学等の研修会、講習会への講師派遣を行った。8回（表3.1.1-3）
イ 出前講座	学校、市民団体等の出前講座への講師派遣を行った。15回 受講者数 1,014人（表3.1.1-4）
ウ 審議会、委員会等への派遣	<p>市町村の審議会、国の委員会、県の各種協議会等への委員派遣を行った。</p> <p><派遣先></p> <p>市町村の審議会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚木市環境審議会 ・平塚市環境審議会 ・鎌倉市環境審議会 ・鎌倉市生活環境整備審議会 ・寒川町環境審議会 ・二宮町環境審議会 ・ごみ中間処理施設整備検討委員会（厚木愛甲環境施設組合） <p>国の設置した委員会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ISO/TC147（水質）アルキル水銀測定法国際標準化委員会（（一社）産業環境管理協会【経済産業省委託】） ・新技術導入のための工場排水試験法に関する JIS 開発「JIS K 0102 改正金属委員会」（（一社）産業環境管理協会【経済産業省委託】） ・環境リスク評価委員会曝露評価分科会（国立研究開発法人国立環境研究所） ・JIS K 0101原案作成委員会（（一社）産業環境管理協会【経済産業省委託】） ・化学物質環境実態調査分析法開発検討会議（LC/MS）（（一財）日本環境衛生センター【環境省委託】） ・化学物質環境実態調査分析法開発検討会議（大気系）（（一財）日本環境衛生センター【環境省委託】） ・新幹線鉄道騒音予測・評価手法検討委員会（（株）ニューズ環境設計【環境省委託】） ・新幹線鉄道騒音環境基準達成状況に関する懇談会（（株）ニューズ環境設計【環境省委託】） ・交通騒音問題の未然防止のための沿道・沿線対策に関する有識者検討会（（株）公共計画研究所【環境省委託】） ・道路交通振動検討会（（株）中央クリエイト【環境省委託】） <p>県の協議会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水源環境保全・再生施策推進会議（環境農政局水源環境保全課） ・科学技術政策推進会議（政策局総合政策課） ・丹沢大山自然再生委員会（環境農政局自然環境保全センター） ・丹沢大山保全対策推進会議（環境農政局自然環境保全課） ・横浜市・川崎市・神奈川県ヒートアイランド問題連絡協議会（環境農政局環境計画課） ・箱根山火山防災協議会幹事会（安全防災局災害対策課） ・大涌谷周辺安全対策検討部会（安全防災局災害対策課） ・火山ガス安全対策専門部会（安全防災局災害対策課） ・神奈川県青少年科学体験活動推進協議会（県民局青少年センター） ・神奈川県生活科学研究ネットワーク連絡会（県民局消費生活課）

表 3.1.1-3 講師派遣

所属	講師	演題等	派遣先(主催機関)	実施日
環境情報部	横島潤紀	騒音・振動防止研修	環境省環境調査研修所	H28.4.19(火) H28.5.16(月)
環境情報部	横島潤紀	事業所における騒音・振動の対策等について	秦野市	H28.6.3(金)
環境情報部	横島潤紀	地球温暖化について	桜美林大学	H28.7.5(火)
環境情報部	野中幸裕	神奈川県環境問題	公益社団法人日本環境教育フォーラム	H28.8.3(水)
所 長	小林幸文	神奈川県環境保全への取組	(一財)日本環境衛生センター	H28.10.28(金)
環境情報部	横島潤紀	騒音・振動・低周波音に関わる苦情と事業者の対応について	(公社)神奈川県環境保全協議会	H28.11.22(火)
所 長 調査研究部	小林幸文 池貝隆宏	水俣条約と水銀規制について	(一社)神奈川県環境計量協議会	H29.1.17(火)
環境情報部	寺下明文 横島潤紀	神奈川県の大気汚染の現状について 騒音・振動・低周波音に関わる苦情と事業者の対応について	平塚地区環境対策協議会	H29.2.21(火)

表 3.1.1-4 出前講座

所属	講師	講座名	依頼元	実施日	参加者数
環境情報部	横島潤紀	音を測る(「騒音」)	タガーズ	H28.4.16(土)	7人
調査研究部	池貝隆宏	キャリア講座「環境問題」	県立瀬谷西高等学校	H28.5.10(火)	30人
調査研究部	池貝隆宏	総合学習「環境」	秦野市立南が丘中学校	H28.5.20(金)	340人
調査研究部	池貝隆宏	キャリア講座「環境問題」	県立瀬谷西高等学校	H28.5.31(火)	30人
環境情報部	横島潤紀	音を測る	県立座間高校	H28.6.21(火)	100人
環境情報部	齋藤和久	田んぼの生き物ウォッチング	伊勢原市立石田小学校 子供クラブ心の翼	H28.7.2(土)	16人
調査研究部	池貝隆宏	PM2.5 かながわの大気	茅ヶ崎市香川公民館	H28.7.13(水)	13人
環境情報部	齋藤和久	川の生き物観察会	平塚市土屋公民館	H28.7.26(火)	17人
調査研究部 環境情報部	朝倉 純 齋藤和久	目久尻川の水質調査体験	綾瀬市環境政策課	H28.7.28(木)	12人
環境情報部	齋藤和久	河内川生きもの調べ	河内川あじさいの会	H28.7.30(土)	150人
環境情報部	齋藤和久	川の生き物観察会	金目川水系流域ネットワーク・平塚市	H28.8.6(土)	175人
環境情報部	野中幸裕	ごみと地球環境	開成町自治活動応援課	H28.8.25(木)	25人
環境情報部	齋藤和久	川の生き物観察会	ずしし環境会議まちなみと緑の創造部会	H28.8.27(土)	24人
環境情報部	齋藤和久	田んぼや用水路の生き物観察会	豊田の里を守る会	H28.9.24(土)	48人
環境情報部	野中幸裕	食品ロスについて	厚木市立愛甲公民館	H28.12.14(水)	27人

(5) 広報及び普及啓発

当センターの事業に関する広報等を行った。

事業名又は項目	概 要
ア 記者発表	行事案内 1 件及び募集案内 3 件の記者発表を行った。 < 発表事項 > 河川のモニタリング調査の県民調査員（ボランティア）を募集します （H28.4.11（火）） 環境調査手法を習得し地域環境保全を実践！！ - 「平成28年度環境活動実践講座」受講生の募集 - （H28.4.13(水)） 「第40回環境研究合同発表会」を開催します - 身近な環境問題や環境技術をテーマに研究成果を発表 - （H28.5.23(月)） あなたも環境実践活動を地域に広める指導者になりませんか！平成28年度環境学習リーダー養成講座のご案内（H28.8.3(水)）
イ 施設公開等	科学技術週間施設公開 H28.4.22(金)～23(土) 見学者 37人 子ども科学探検隊（県青少年科学体験活動推進協議会）H28.8.9(火) 参加者 23人 施設見学（随時） 見学者 335人（13回）
ウ イベント参加	湘南ひらつかテクノフェア2016 H28.10.20(木)～22(土)（主催 平塚商工会議所）、開催場所 ひらつかサン・ライフアリーナ） かながわ科学技術フェア2016 H28.11.12(土)(主催 県(総合政策課)、開催場所 新都市プラザ（横浜駅東口））
エ 年報の発行	「平成28年版(2016)年報 第48号」をH28.12に発行し、当センターwebサイトに掲載した。
オ インターンシップ学生の受入れ	県が実施しているインターンシップ（学生実習生受け入れ制度）によりH28.8.22(月)～26(金)の5日間、大学生2人を受け入れた。

(6) 他機関との連携

県内及び全国の地方公共団体環境研究機関と交流・連携し、調査研究に関する技術の向上を図った。

事業名又は項目	概要
<p>ア 神奈川県環境研究機関協議会</p>	<p>当センターと横浜市環境科学研究所及び川崎市環境総合研究所で構成する「神奈川県環境研究機関協議会」において、情報交換や研究成果の合同発表会、研修会を開催した。</p> <p><内容></p> <p>定例会 第1回 H28.5.21(水) 横浜市環境総合研究所大会議室 第2回 H29.1.25(水) 横浜市環境総合研究所大会議室 第40回環境研究合同発表会(再掲) H28.6.15(水) 横浜市技能文化会館 参加者125人 研修会 H29.3.3(金) 横浜市技能文化会館 参加者48人 公演「緊急時環境調査のためのネットワーク構築に向けて」 国立研究開発法人国立環境研究所 環境リスク・健康研究センター 主任研究員 中島 大介 氏</p>
<p>イ 全国環境研協議会</p>	<p>全国環境研協議会(地方自治体の設置する環境保全及び公害防止施策に係る試験研究機関で組織)に参画し、機関相互の運営に関わる連絡、情報交換、共同調査研究等を行った。</p> <p><内容></p> <p>第45回総会 H29.2.7(火) (公財)都道府県会館402 研究・発表会等の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全環研協議会騒音振動担当者会議 H28.11.18(金) 名城大学天白キャンパス研究実験棟 一般講演「神奈川県内における新幹線鉄道騒音・振動の現状」(横島潤紀【環境情報部】) ・国立環境研究所との 型共同研究(6課題中3課題に参画) 「PM2.5の短期的/長期的環境基準超過をもたらす汚染機構の解明」 「国内における化審法関連物質の排出源及び動態の解明」 「植物の環境ストレス診断法の確立と高度化に関する研究」 <p>環境省の施策及び予算に対する要望書の提出 酸性雨全国調査への参画</p>

事業名又は項目	概 要
イ 全国環境研協議会（続）	<p>また、関東甲信静エリアの16都県市の地方公共団体環境研究所で構成する関東甲信静支部において情報交換等を行った。</p> <p><内容></p> <p>支部総会 H28.10.28(金) ホテルポートプラザちば</p> <p>専門部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大気専門部会 H28.11.10(木) 茨城県霞ヶ浦環境科学センター多目的ホール 演題発表「化学輸送モデルPM_{2.5}の季節比較と高濃度日の特徴」(小松宏昭【調査研究部】) ・水質専門部会 H28.10.21(金) アクトシティ浜松研修交流センター(中山駿一【調査研究部】) ・水質専門部会東京湾連絡会 H28.11.8(火) フクラシア品川クリスタルスクエア(池貝隆宏【調査研究部】) ・騒音振動専門部会 H28.7.8(金) 東京都環境公社東京都環境科学研究所大会議室 演題発表「新幹線鉄道騒音の暴露反応関係についての再検討 - 音響社会調査の二次分析から - 」(横島潤紀【環境情報部】) <p>環境測定分析統一精度管理ブロック会議 H28.7.22(金) 山梨県庁防災新館408会議室(十河孝夫【調査研究部】)</p> <p>全国環境研協議会関東甲信静支部長表彰(再掲) H28.10.28(金) ホテルポートプラザちば 受賞者 飯田信行【環境情報部】</p>
ウ 神奈川県公害防止推進協議会	<p>横浜市、川崎市及び神奈川県で構成する神奈川県公害防止推進協議会の浮遊粒子状物質対策検討部会において、県内の微小粒子状物質の実態と発生源を把握するため、PM_{2.5}高濃度時の試料採取及び分析、解析を行っている。H28年度は春季及び夏季、秋に各1回、冬季に2回試料採取を行い、またH27年度に採取した高濃度時試料の分析及び解析を行った。</p>
エ 関東地方大気環境対策推進連絡会	<p>関東甲信静地方の1都9県7市で構成する関東地方大気環境対策推進連絡会において、微小粒子状物質の広域的な汚染実態と発生源を把握するため、H27年度の季節別の構成成分の把握や高濃度日を対象とした解析を行った。</p>

3.1.2 環境学習業務

環境学習講座の開催、環境学習施設の県民利用、環境学習情報の発信等に関する業務を行った。

(1) 環境学習講座の開催

環境問題や環境保全活動に関心のある県民向けに環境学習リーダー養成講座、環境活動実践講座及びスキルアップ講座を開催した。

事業名又は項目	概要		
ア 環境学習リーダー養成講座	<p>地域で環境学習活動を行う人材（環境学習リーダー）の育成を目的として、意欲のある県民を対象に、環境問題の基礎知識や活動手法等に関する講座を開催した。</p> <p><実績> 受講者 19人 修了者 11人（科目の8割以上を受講した者）</p>		
	開催日	講座のテーマ	講師
	H28.10.1(土)	環境科学センターの紹介と施設見学(講義・施設見学) ネイチャーゲーム(実習) ¹	環境科学センター職員 日本シェアリングネイチャー協会 村田範子
	10.8(土)	環境学習論(講義) 神奈川の環境(講義)	立教大学教授 阿部 治 環境科学センター職員
	10.15(土)	野外環境学習の実践法 ²	大井町教育委員会おおい自然園 一寸木肇
	10.22(土)	地球温暖化の基礎知識と取組に向けた最新情報(講義) 小学生向け環境体験教室ストップ地球温暖化(講義・実習)	(一社)地球温暖化防止全国ネットワーク 事務局長 川原博満 (特非)神奈川県環境学習リーダー会 田口繁雄
	10.29(土)	下水処理場施設見学(施設見学) ³ 藤沢市の廃棄物とリサイクル(講義) リサイクルプラザ藤沢の施設見学と運営(施設見学)	(公財)神奈川県下水道公社職員 藤沢市北部環境事業所所長 和田佳久 藤沢市職員
	11.5(土)	市民活動について 新エネルギー講座(出前講座) 神奈川県における騒音問題の現状と課題	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ 代表理事 手塚明美 環境科学センター職員
	11.12(土)	電卓で計算する環境リスク評価入門 ワークショップの手法(実習)	環境科学センター職員 (特非)開発教育協会 事務局長 中村絵乃
	<p>1 平塚市総合公園で実施</p> <p>2 大井町ゆめの里で実施</p> <p>3 神奈川県下水道公社柳島管理センターで実施</p>		

事業名又は項目	概 要																				
イ 環境活動実践 講座	環境保全活動に関心を持つ県民を対象に、活動を実践するうえで役立つ知識や技術に関する講座を開催した。 <実績> 受講者 17人 修了 9人 <table border="1" data-bbox="480 367 1445 1196"> <thead> <tr> <th data-bbox="480 367 675 405">開催日</th> <th data-bbox="675 367 1059 405">講座のテーマ</th> <th data-bbox="1059 367 1445 405">講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="480 405 675 562">H28.5.28(土)</td> <td data-bbox="675 405 1059 562">水生生物の概論について(講義)¹ 河川水や水生生物の調査手法について(実習)</td> <td data-bbox="1059 405 1445 562">水生生物の専門家 野崎隆夫 環境科学センター 職員</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 562 675 719">6.4(土)</td> <td data-bbox="675 562 1059 719">水生生物の同定手法について(実習) 河川水質の分析手法について(実習)</td> <td data-bbox="1059 562 1445 719">水生生物の専門家 野崎隆夫 環境科学センター 職員</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 719 675 875">6.11(土)</td> <td data-bbox="675 719 1059 875">BOD測定と簡易測定法について(実習) 生態系調査手法について(講義と実習)²</td> <td data-bbox="1059 719 1445 875">環境科学センター 職員 東海大学教養学部准教授 藤吉正明</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 875 675 1077">6.18(土)</td> <td data-bbox="675 875 1059 1077">河川等の水質や大気環境の調査(環境監視)結果、評価について(講義) PM2.5と簡易測定法について(講義と実習)</td> <td data-bbox="1059 875 1445 1077">環境科学センター 職員 環境科学センター 職員</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 1077 675 1196">6.25(土)</td> <td data-bbox="675 1077 1059 1196">簡易測定法について(実習) 環境調査実践手法について(実習)</td> <td data-bbox="1059 1077 1445 1196">環境科学センター 職員 (特非)神奈川県環境学習リーダー会 代表理事 柳川三郎</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="507 1196 847 1256"> 1 伊勢原市ふれあいの森で実施 2 実習は平塚市総合公園で実施 </p>			開催日	講座のテーマ	講師	H28.5.28(土)	水生生物の概論について(講義) ¹ 河川水や水生生物の調査手法について(実習)	水生生物の専門家 野崎隆夫 環境科学センター 職員	6.4(土)	水生生物の同定手法について(実習) 河川水質の分析手法について(実習)	水生生物の専門家 野崎隆夫 環境科学センター 職員	6.11(土)	BOD測定と簡易測定法について(実習) 生態系調査手法について(講義と実習) ²	環境科学センター 職員 東海大学教養学部准教授 藤吉正明	6.18(土)	河川等の水質や大気環境の調査(環境監視)結果、評価について(講義) PM2.5と簡易測定法について(講義と実習)	環境科学センター 職員 環境科学センター 職員	6.25(土)	簡易測定法について(実習) 環境調査実践手法について(実習)	環境科学センター 職員 (特非)神奈川県環境学習リーダー会 代表理事 柳川三郎
開催日	講座のテーマ	講師																			
H28.5.28(土)	水生生物の概論について(講義) ¹ 河川水や水生生物の調査手法について(実習)	水生生物の専門家 野崎隆夫 環境科学センター 職員																			
6.4(土)	水生生物の同定手法について(実習) 河川水質の分析手法について(実習)	水生生物の専門家 野崎隆夫 環境科学センター 職員																			
6.11(土)	BOD測定と簡易測定法について(実習) 生態系調査手法について(講義と実習) ²	環境科学センター 職員 東海大学教養学部准教授 藤吉正明																			
6.18(土)	河川等の水質や大気環境の調査(環境監視)結果、評価について(講義) PM2.5と簡易測定法について(講義と実習)	環境科学センター 職員 環境科学センター 職員																			
6.25(土)	簡易測定法について(実習) 環境調査実践手法について(実習)	環境科学センター 職員 (特非)神奈川県環境学習リーダー会 代表理事 柳川三郎																			
ウ スキルアップ 講座	環境学習リーダーのスキルアップを目的に開催した。 <実績> 第1回 受講者30人 第2回 受講者31人 <table border="1" data-bbox="480 1435 1445 1749"> <thead> <tr> <th data-bbox="480 1435 675 1473">開催日</th> <th data-bbox="675 1435 1059 1473">講座のテーマ</th> <th data-bbox="1059 1435 1445 1473">講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="480 1473 675 1592">第1回 H28.7.14(木)</td> <td data-bbox="675 1473 1059 1592">都市環境を考える(持続可能な都市をめざして)</td> <td data-bbox="1059 1473 1445 1592">国立環境研究所 社会環境システム研究センター 主任研究員 藤井 実</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 1592 675 1749">第2回 H28.12.8(木)</td> <td data-bbox="675 1592 1059 1749">地球温暖化の現状と将来を考える</td> <td data-bbox="1059 1592 1445 1749">国立環境研究所 地球環境研究センター 気候変動リスク評価研究室 室長 江守 正多</td> </tr> </tbody> </table>			開催日	講座のテーマ	講師	第1回 H28.7.14(木)	都市環境を考える(持続可能な都市をめざして)	国立環境研究所 社会環境システム研究センター 主任研究員 藤井 実	第2回 H28.12.8(木)	地球温暖化の現状と将来を考える	国立環境研究所 地球環境研究センター 気候変動リスク評価研究室 室長 江守 正多									
開催日	講座のテーマ	講師																			
第1回 H28.7.14(木)	都市環境を考える(持続可能な都市をめざして)	国立環境研究所 社会環境システム研究センター 主任研究員 藤井 実																			
第2回 H28.12.8(木)	地球温暖化の現状と将来を考える	国立環境研究所 地球環境研究センター 気候変動リスク評価研究室 室長 江守 正多																			

(2) NPO と連携した環境学習事業の実施

かながわサイエンスサマー事業として、当センターの環境学習講座の修了者が中心となって活動している（特非）神奈川県環境学習リーダー会と共催で、小学生を対象に夏休み子ども環境体験教室をリーダー会会員を講師として開催した。参加総数 191 人

開催日	内 容	参加者数
H28.7.29(金)	人工の雲をつくろう	21 人
7.29(金)	人工の雲をつくろう（2回目）	21 人
8. 1(月)	身近なもので電池を作ろう	20 人
8. 2(火)	森の木工クラフトで森を考えよう	23 人
8. 3(水)	汚れた水をきれいにしよう	20 人
8. 3(水)	手づくり顕微鏡で生き物を観察しよう	23 人
8. 4(木)	空気についてしらべよう	22 人
8. 4(木)	プラスチックのリサイクル実験教室	22 人
8. 5(金)	いろいろな方法で発電してみよう	19 人

(3) 環境学習施設利用者支援

環境学習施設及び環境学習用資機材の貸出を行った。

事業名又は項目	概 要															
ア 環境学習施設の貸出	<p>環境学習施設 4 施設を貸出するとともに、実験指導などの利用者の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名称</th> <th>主な貸出先等</th> <th>施設利用数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境学習室</td> <td>環境保全団体（自主講座の拠点施設として利用）</td> <td>1,262 人（46 件） 【536 人（20 件）】</td> </tr> <tr> <td>実習室</td> <td>環境保全団体（pH、COD 等の水質分析や大気中二酸化窒素の分析等に利用）</td> <td>1,375 人（67 件） 【446 人（16 件）】</td> </tr> <tr> <td>環境資料室</td> <td>環境保全団体、県民</td> <td>6 人（3 件）</td> </tr> <tr> <td>環境活動室</td> <td>環境保全団体</td> <td>118 人（14 件）</td> </tr> </tbody> </table> <p>【 】内は、当センター主催講座における件数で内数</p>	施設名称	主な貸出先等	施設利用数	環境学習室	環境保全団体（自主講座の拠点施設として利用）	1,262 人（46 件） 【536 人（20 件）】	実習室	環境保全団体（pH、COD 等の水質分析や大気中二酸化窒素の分析等に利用）	1,375 人（67 件） 【446 人（16 件）】	環境資料室	環境保全団体、県民	6 人（3 件）	環境活動室	環境保全団体	118 人（14 件）
施設名称	主な貸出先等	施設利用数														
環境学習室	環境保全団体（自主講座の拠点施設として利用）	1,262 人（46 件） 【536 人（20 件）】														
実習室	環境保全団体（pH、COD 等の水質分析や大気中二酸化窒素の分析等に利用）	1,375 人（67 件） 【446 人（16 件）】														
環境資料室	環境保全団体、県民	6 人（3 件）														
環境活動室	環境保全団体	118 人（14 件）														
イ 環境学習用資機材の貸出	<p>環境学習用のビデオ・DVD、環境測定用機器、観察機器等の貸出を行った。 実績 延べ86台（60件）</p>															

(4) 環境学習情報の提供

環境学習のためのホームページを運用し、環境学習に関する情報を発信した。

事業名又は項目	概 要
ア 地球環境学習ひろば	<p>環境学習講座開催情報、施設利用案内、教材ダウンロード、環境活動人材情報検索等の情報を提供した。アクセス数 872,050 件 URL http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/learning/toppage.html</p>

3.1.3 その他業務

(1) 共同研究

大学等と連携した騒音振動に関連する共同研究を行った。

事業名又は項目	概要
<p>ア 騒音と振動に対する心理反応の相互影響 【石川高専、埼玉大、熊本大、横浜国大との共同研究】</p>	<p><担当者> 横島潤紀（環境情報部）、森原 崇（石川高専）、松本泰尚（埼玉大）、矢野隆（熊本大）、田村明弘（横浜国大）</p> <p><研究期間> H28～29年度</p> <p><目的> 騒音と振動それぞれの心理反応に対して、暴露量が相互に影響を及ぼすのか、社会調査と主観評価実験の両面から検証する。</p> <p><方法と結果> 石川県における北陸新幹線沿線の居住環境に関する社会調査 社会調査データの更なる蓄積を目的とし、平成28年11月に、石川県内及び富山県内の北陸新幹線沿線において、石川高専が郵送配布・郵送回収の方法により調査を実施した。配布数は1995件、回収数は1,025件であった。回答者に暴露されている騒音・振動の大きさについては、平成29年度に推計を行う予定である。</p> <p>音響社会調査による騒音と振動に対する心理反応の相互影響 過去20年以内に新幹線鉄道沿線で実施された社会調査により得られた個票データを用いて分析を行った。騒音、振動に対するアノイアンス反応に対して、振動と騒音それぞれの暴露量が有意に影響を及ぼすことを確認した。さらに、騒音、振動の両暴露量と、騒音、振動それぞれに対するアノイアンス反応との関係を構築した。</p> <p>主観評価実験による騒音と振動に対する心理反応の相互影響 石川高専に設置されている振動実験装置を用い、新幹線鉄道の騒音と振動による生活活動への相乗的な影響を検証した。やかましさを振動の知覚に関しては、相互に影響を及ぼす傾向は見られなかった。一方、妨害感に関しては、読書と計算ともに騒音刺激70dBという高い騒音レベル環境下では振動による相乗効果は認められなかったが、読書では騒音刺激50dBと60dB、計算では50dBの環境下において、振動なしよりも振動75dBを暴露した場合の妨害感が高くなることを確認した。</p>

(2) 技術支援

騒音振動に関する行政機関への技術支援を行った。

事業名又は項目	概 要
ア 依頼調査及び技術支援	<p>大気水質課、地域県政総合センター及び市町村等からの依頼に基づき、騒音振動に係る調査や技術支援を行った。</p> <p>実績 13件</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none">リニア中央新幹線騒音振動の測定（大気水質課）事業場の騒音苦情調査（湘南地域県政総合センター）路線バス運行に伴う住宅振動に係る調査（綾瀬市）高架橋道路の騒音測定に係る技術支援（寒川町2か所）～ 低周波音測定に係る技術支援（4市町：茅ヶ崎市・伊勢原市・横浜市・大井町）道路交通による振動の測定に係る技術支援（横須賀土木事務所）騒音、振動、悪臭測定に係る技術支援（秦野市）事業場の騒音振動測定に係る技術支援（秦野市）東名高速道路周辺の騒音測定に係る技術支援（綾瀬市）騒音測定に係る技術支援（南足柄市）